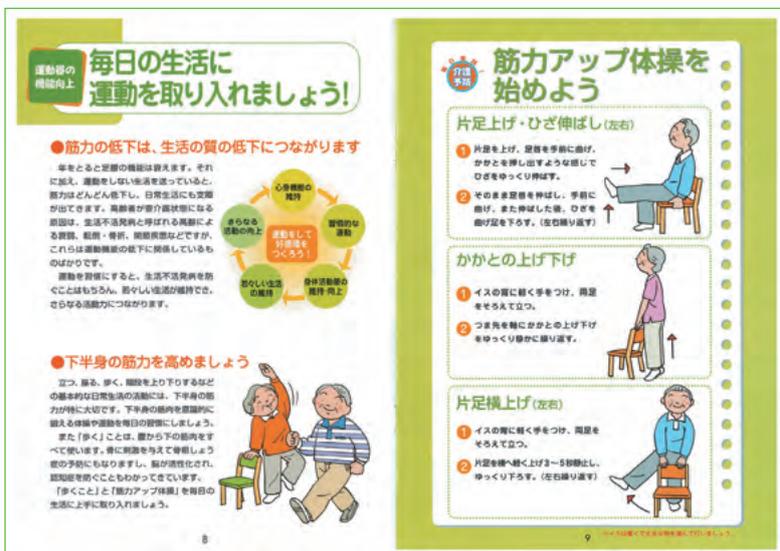


高齢者福祉

地域の取り組みが重要



都築 重信 議員



パンフレット 「元氣なうちからはじめよう介護予防」より

問 高齢者が進んでいる現在、要介護者を増やさない方策を取る必要がある。現在のどのような方策をとっているのか。

答 9月現在543世帯。高齢者の1人世帯は何世帯あるか。

問 介護保険料は現在いくらか。

答 基準保険料は、月額4400円。

問 要介護者を増やさないために、町が現在取っている方策は。

答 運動器機能向上の教室等を開催している。



運動器機能向上教室（デイリハビリセンター阿久比）

問 第5期（平成24～26年度）介護保険事業計画の現時点までの結果。

答 24年度の認定者は、703人に対し696人。事業費は13億7300万円に対し、13億2500万円。

25年度は750人に対し749人、14億6600万円に対し、13億9700万円。



宅老所で運動（体操）

問 今後、地域が高齢者に対してとっていく役割は何か。

答 地域における人と人とのつながりが、健康や介護予防にも効果的であり、各行政区における小地域福祉活動やいきいきクラブの友愛活動、見守り活動など、地域ぐるみで取り組む介護予防活動が重要である。